

工場誘致で、利権を優先か？

第53回「人権と部落問題」 全国夏期講座のおさそい

部落問題研究所・どの子も伸びる研究会主催の案内文を以下紹介します。参加を希望される方は連絡ください。

* * * *

全体集会：7月28日（水）午後1時～5時

ところ：京都教育文化センター大ホール

分科会：7月29日（木）午前9時半～4時

ところ：京都教育文化センター

第1分科会 同和行政終結と住民の自治・自立

2002年3月末で国政レベルでの同和行政が基本的に終結したが、実施主体である市町村レベルでの終結にはかなりの格差がある。不公正・乱脈な同和行政がいかに住民自治を破壊し、部落問題の解決を妨げてきたかを明らかにするとともに、住民自治の力で完全解決を迎えつつある地域から多くを学びたい。

基調報告： 広原盛明（前京都府立大学学長）

報告：同和行政の見直しの現状と課題

早乙女実（大阪府和泉市議員）

報告：同和問題の完全解決を終えた町

井上楠次（和歌山県吉備町元助役）

受講料：4500円

* * * *

以前聴いた吉備町元助役の井上さんの「差別の源を解消する」「同和教育とは地区外の人に『差別するな』と押し付けることではない」とのお話は強く印象に残って、今回も楽しみです。また、部落解放同盟近江八幡市協議会副委員長と書記長、執行委員が入札妨害と現金数百万円の恐喝容疑で逮捕された近江八幡市からの生々しい報告も聴くことができるでしょう。

【参加をご希望の方は、西澤：38-4949 又は
部落問題研究所 0775-721-6108 まで】

甲 良 民 報

NO249 2004年6月27日
発行：日本共産党甲良町支部
支部長 西澤伸明 在士463
Tel・Fax：38-4949
日本共産党のホームページ

<http://www.icp.or.jp>

【月3回発行：月初めか月末原則休刊】

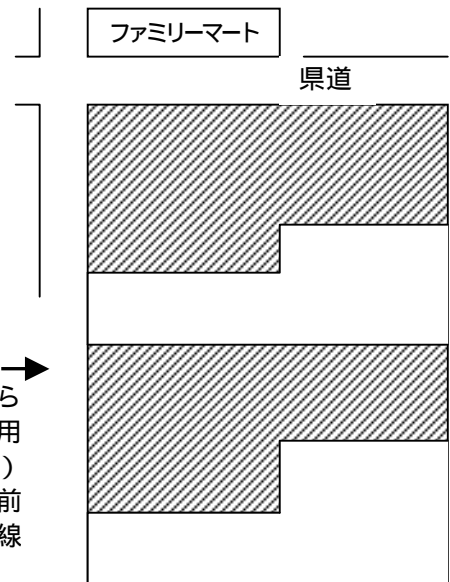
西澤議員が議会で明らかにした北海製罐工場用地全体19筆（調査済み）約79000㎡。内、Y氏の前所有地は約49000㎡（斜線部）：62.1%を占める。

北海製罐工場誘致
Y氏の点在土地を一ヶ所に集めるのがなぜ可能だったか？

西澤議員は、長寺センター建て替え用地など、土地利権疑惑が続く根本には北海製罐土地疑惑が解明されなまま残っていると、山本町長の政治姿勢を追及。加工センター、ゴルフ場開発、前教育長がかかわった尼子駅広場、そして北海製罐工場誘致と、平成2年から4年に一連の事業がつづき、ゴルフ場開発をめくつては、当時の宮川議長が収賄容疑で逮捕された経過を想起。

「いまは調査の途上」と前置きした上で「刑事事件とは異なり、行政の公平・公正の原則から見て、政治的・道義的責任はどなただったのか問いたしたい」と強調しました。

6月議会での西澤伸明議員の一般質問（10日）の抜粋・要旨をお知らせします。



認できませんか。工場誘致の計画はどの機関がかかわったか。町の誘致計画ではなかったか。優良企業の誘致を山本町政はかかげませんでしたか。」

山本町長は「疑惑をもたれるようなことはしていません。こういった質問にはお答えする必要はありません。あの敷地については県営北部地区整備事業で整備された区域であり、小川原、在士、尼子の土地改良組合が事業に則って換地を行ったものです。」と答弁。

西澤議員は、工場誘致は改良組合が勝手にやったのか、と再度質問。

山本町長は「町民のアンケートをもとに優良企業の誘致に取り組んだ」と答弁。町が公に開示した事業であることを認めざるを得ませんでした。西澤議員は「結果として、贈収賄とは別に、一部の人物が有利なはからいを受けたのではないか、町が公正に事業執行を行ったのか疑問が残り、明確になるまで追求を続ける」としめくりました。